

平成26年度皇學館大學史學會講演会

# 大名行列の構造

—南部藩参勤交代図巻を事例に—

近世の武家行列図は、武家社会の構造そのものであり、縮図でもある。近世後期の南部藩参勤交代図巻は長さ約三メートル、描かれた人物六五〇人に及び、近世の大名行列図のなかで、最も整っている絵巻の一つである。この絵巻に描かれた人物や道具を巻頭から巻尾まで検討しながら、近世武家社会の特徴と展開を考えていきたい。



講師 根岸 茂夫 先生

國學院大學大学院文学研究科教授

日時 10月23日(木)

午後4時30分～6時

場所 本学231教室(2号館3階)

三重県伊勢市神田久志本町1704番地 皇學館大学内

<講師紹介>

根岸 茂夫 (ねぎし・しげお) 先生

1951年東京都生まれ。御専門は日本近世史。

1979年國學院大學大学院文学研究科日本史学専攻博士課程修了。

現在、國學院大學大学院文学研究科教授、博士(歴史学)。

<主要著書・論文等>

『近世の環境と開発』(共編、思文閣出版、2010年、978-4-7842-1544-7)

『大名行列を解剖する 江戸の人材派遣』(吉川弘文館、2009年、978-4-642-05682-3)

『近世武家社会の形成と構造』(吉川弘文館、2000年、978-4-642-03356-5)

『江戸版本解説大字典』(監修、柏書房、2000年、978-4-7601-1928-8)

『新編古文書解説字典』(共編、柏書房、1993年、978-4-7601-0973-9) その他多数。

申込不要

聴講無料

本件に関するお問い合わせは、文学部国史学科研究室(3号館3階、0596-22-6456)まで